

入札における最低制限価格の算出方法について

最低制限価格の設定基準（令和４年５月１日改定）

【建設工事】

（対象）

設計金額が１３０万円以上（消費税及び地方消費税額を含む金額）の入札

（計算方法）

①	直接工事費	×	９７％
②	共通仮設費	×	９０％
③	現場管理費	×	９０％
④	一般管理費	×	６８％
【設定範囲】 ７５％～９２％			

（複数の工事業種を含む場合）

	直接工事費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費
工種①	(a)	(b)	(c)	(d)
工種②	(e)	(f)	(g)	(h)
工種③	(i)	(j)	(k)	(l)
合計	(a)+(e)+(i) ＝①	(b)+(f)+(j) ＝②	(c)+(g)+(k) ＝③	(d)+(h)+(l) ＝④

※複数の工事業種を含む場合は、各工事業種で算出された費用ごとに合算したのち、１つの建設工事として、上記の計算式で最低制限価格を算出します。

※算出にあたっては、上記の計算式の額を合計した段階で千円未満の端数は切り捨て、端数整理後の額に消費税及び地方相当額を加えることとします。

※予定価格算出の基礎となった下記の額に消費税及び地方相当額を加えて得た額。ただし、その額が予定価格に９２％を乗じて得た額を超える場合にあっては９２％を乗じて得た額とし、予定価格に７５％を乗じて得た額に満たない場合にあっては７５％を乗じて得た額とします。